

2022 年度 事業計画

【自治体との連携による障害者・認知症高齢者等の意思決定支援モデル】

日本 THE NIPPON 「財団 FOUNDATION

事業 ID 期間

2022009177 2022 年 04 月 01 日 ~2023 年 03 月 31 日

住所

〒305-8577 茨城県つくば市

- 天王台 1-1-1 筑波大学人間系名川勝研究室気付 団体名 (国名) (一社) 日本意思決定支援ネットワーク (日本) 代表者 代表理事 名川 勝

事業内容

成果物

1. 日本型意思決定支援総合プログラムのうち、基本部分をオンラインで提供・学習できるコンテンツの開発 2. 日本型意思決定支援総合プログラムにおける個別スキルプログラムの再編、開発 3. 地域(自治体)における意思決定支援体制を促進するための総合プログラムを実施するモデルの開発 (複数年度のうちの1年目) - 4. 地域(自治体)における独立アドボケイトとして、具体的ケースにおいて、本人の心からの希望、選好・価値観を収集し、報告するための活動の展開 上記による意思決定支援の研修と実践のより一般的かつ広域に適用可能なモデルの開発

1. 意思決定支援オンラインコンテンツの開発等

(1) 時期:2022 年 5 月~(2) 場所:関東 2. PSF プログラム再編及び実践

(1) 時期:通年 (2) 場所:愛知県、東京都、神奈川県、大分県 3. トーキングマット(TM) 事業

(1) 時期:通年 (2) 場所:北信越、関東、西日本、九州 4. リスクの捉え直し (Positive Risk Taking) 研修プログラムの開発と検

1. 事業報告書

(1) オンラインコンテンツ (2)再編された PSF 研修プログラム (3) トーキングマット基礎研修実施報告 (4) PRT 研修プログラム及び実施報告 (5)重度の障害のある人の意思決定支援に必要な選好の抽出と記録に関する検証結果

(6) 豊田市における取組報告

目標」

(1) 時期:2022年4月~12月 (2) 場所:愛知県、東京都、千葉県など 5. 重度の障害のある人の意思決定支援にかかる記録化検討事業

(1) 時期:2022年4月~2023年2月 (2) 場所:千葉県など (3) 対象者:若干名 6. 地域生活意思決定支援共同事業事務局

(1) 時期:通年 (2) 場所:愛知県豊田市、関東

1. オンラインコンテンツ、団体PR動画が公開され、アクセス数合計1,000以上を達成する。 2. 実践的意思決定支援ファシリテーション(PSF)プログラム再編及び実践・プログラム再編】PSFプログラムをプロセス評価の仕組みを内包したプログラムに再編し、その妥当性についてPSFプログラム等の意思決定支援実践の効果に照らし合わせて検証を行う。 ・[プログラム実践] 連携2法人との協働によりPSFプログラムを実施し、その効果について意思決定者(障害当事者)の主観的QOLの変化及び意思決定者(障害当事者)及びファシリテーター、サポーターの意識の変化を評価することにより検証を行う。 3. トーキングマット基礎研修の実施、修了者合計80名以上、受講時の満足度8割以上(「かなり満足」「満足」の評語が8割以上。新カードの開発完了。各種学会等での活動成果報告(年1回以上)。 4. 令和3年度より開発しているPRT研修プログラムの修正および実施(10名以上)及び研修による受講者のPRTに関する認識の向上。 5. 重度の障害のある人の意思決定支援に必要な選好の抽出と記録に関する検証結果を得る。 6. 地域生活支援事業者及び市民後見人修了者(SDMサポーター)への研修提供(年3回以上)、独立アドボケイトによる支援を通じた具体的な意思決定支援の取組み(年3回以上)、英国等のアドボケイト等からのヒアリングその他情報収集結果の報告会・本事業に関するシンポジウムの実施(年1回)